



北部の農業振興策

橋本 三春の北部は山間丘陵地が多く、農業を行ううえで恵まれたところではない。しかし近年、ぶどうの栽培に入れている話を聞いた。産地形成のため、規模拡大を図るとともに、ぶどうを利用した加工施設も必要ではないか。北部の自然条件が果樹栽培に適しているという専門家の意見もあることから、新たな振興作物として果樹栽培を広めたいと考えている。

橋本 6次産業化の考えはあるのか。 産業課長 今後は果樹全般に焦点を6次化商品の開発を支援していく考え方である。また、三春産農作物のブランド化を図ることで、他産地と差別化し、農業の経営安定化を目指したい。

橋本 補助金等はあるのか。 産業課長 補助金は有効な手段と考えているため、他自治体の補助内容などの調査・研究を行い、新たな補助金制度について検討する。



「うまいブドウ作っぺない！」

A 振興作物に果樹栽培を普及させたい
Q 北部の農業振興策をどう進めるのか

QRコード 質問者の録画映像
はこちらから

傍聴者へ直撃インタビュー



12月2日の一般質問を傍聴された方へお話をうかがいました。

今回で2回目の傍聴となりましたが、質問に対する町長の答弁がとても分かりやすいと感じました。私はまちづくりの地域部会長として活動していますが、日頃は町の課題を具体的に知る機会が少ないので現状です。今回の傍聴を通して、議員の皆さんのが町の状況をよく把握し、課題に向き合っていることが伝わり、安心感を持つことができました。機会があればぜひまた傍聴したいと思います。

その後どうなった～一般質問で取り上げたテーマを追跡～

各地区のサロン活動充実のため、スクエアステップのリーダーを増やすよう令和5年3月に一般質問をしました。今年度養成講座が開催され、新たに18人誕生しました。町内全51人のリーダーのご活躍が期待されます。



令和7年9月一般質問の「ラーニング」について、早速、各小学校の保護者に向けたアンケート調査の動きがありました。このような速やかな対応で町民の意見を反映して頂くことを望みます。

※ラーニング…愛知県発祥の「学習(Learning)」と「休暇(Vacation)」を組み合わせた造語で、保護者等の休暇に合わせて子どもが平日に校外で自主学習活動を行う制度